

災害件数（令和2年8月5日現在）

火災：八女市 12件 広川町 3件

高速・その他 1件

救急：八女市 1,584件 広川町 413件

高速・その他 7件

～ 「あの日」を忘れない ～

平成24年7月九州北部豪雨

「平成24年7月九州北部豪雨」をはじめ、毎年のように発生する大規模な豪雨災害や台風災害・・・年々、災害の規模や被害は大きくなっており、過去の災害が薄れていっているように感じます。

そんな中、今年も、西日本から東日本にかけて広い範囲で記録的な大雨となり、熊本県を中心に九州地方や中部地方で死者や行方不明者、その他多くの甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」が発生しました。

今回の豪雨は、「平成24年7月九州北部豪雨」よりも多くの雨が降ったものの、時間雨量100mmを超える短期集中型の雨ではありませんでした。しかし、降り始めからの雨量は、1,000mmを超えており、これが短期集中型の雨となっていれば、平成24年の、「あの日」以上の災害が発生していたかもしれません。

また、これから台風シーズンを迎えるにあたり、もう一度、災害についての『**備え**』や『**対応**』をしっかりと考え、『**自らの命は自らが守る**』意識を持って、災害に備えしましょう。

写真提供：ガーデンホール矢部川城

災害前

災害時

復旧後

逃げ遅れゼロへ

警戒レベル

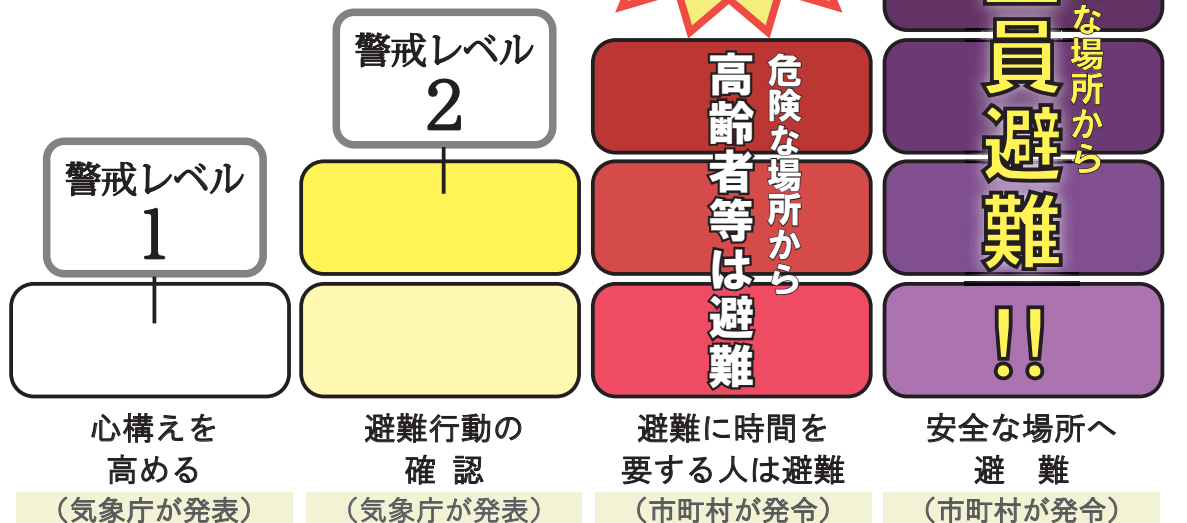
4

で全員避難！！



『警戒レベル』で避難のタイミングをお伝えします

市町村から『警戒レベル③④』が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。



警戒レベル⑤は既に

災害が発生

している状況です！！

出典：内閣府防災情報ページより

3ステップで「命」を守る

Step:1

「災害リスクを知る」～自宅などの危険を知る～

まずは、ハザードマップを確認し、河川が氾濫した場合には何m浸水してしまうのか、土砂災害が起こりやすい場所ではないかなど、自宅や学校・職場等の自分の生活圏内に、どのような危険があるのか確認し、もし避難するならどこが避難所なのか災害前から「知る」ことが重要です。

Step:2

「情報を掴む」～情報は待つのではなく取りに行く～

気象庁のホームページでは、様々な防災気象情報を発表しています。今後の雨の降り方を知る「雨雲レーダー」、「土砂災害危険度分布」、「浸水危険度分布」、「洪水危険度分布」等があり、警戒レベルと同様に色分けされて非常にわかりやすい「情報」となっています。「洪水危険度分布」は国土交通省とリンクされており、河川の水位をリアルタイムで確認できる監視カメラが付いているため、積極的に活用しましょう。

Step:3

「避難行動」～危険と思ったら逃げる～

災害が発生し、または発生する恐れがある場合、災害対策基本法に基づき市町村が避難勧告等を発令しますが、発令されていなくても、危険を感じたら「避難行動」をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。また、大雨等により避難場所までの移動が危険と思われる場合、または外出すら危険と思われる場合は、近くの安全な建物や、建物内の安全な部屋に移動しましょう。

令和2年7月豪雨 熊本県へ出動！！

令和2年7月4日、消防庁長官からの出動指示により、緊急消防援助隊福岡県大隊として、当消防本部から救急隊1隊（4名）帶動隊1隊（2名）が熊本県へ出動し、現地での災害活動を行いました。



災害時 危険を感じたら避難が原則

新型コロナウイルスの感染拡大により発令された緊急事態宣言は、5月27日に解除され一時小康状態となったものの、7月に入り再び感染者の数が増え続けています。

感染拡大が懸念される中、今後も豪雨や台風等の風水害は「待ったなし！」でやってきます。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時に危険な場所にいる人は避難することが原則です。感染拡大防止と避難について、次のポイントをおさえましょう。

知っておくべき3つのポイント

POINT

1

避難先は？

市や町が指定する避難所に限らず、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

POINT

2

避難時の携行品は？

指定された避難所では、マスク・消毒液・体温計が不足することが予測されます。避難する際は自ら携行しましょう。

POINT

3

避難所では？

避難者相互に適度な距離を保ち、3密を避けましょう。また、やむをえず車中泊をする場合は、周囲の安全等を十分確認しましょう。

3密を避けよう！



「熱中症予防」と「新しい生活様式」を両立させましょう

新しい生活様式にマスク着用は原則ですが、マスク着用により熱中症のリスクが高まります。マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかいうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。

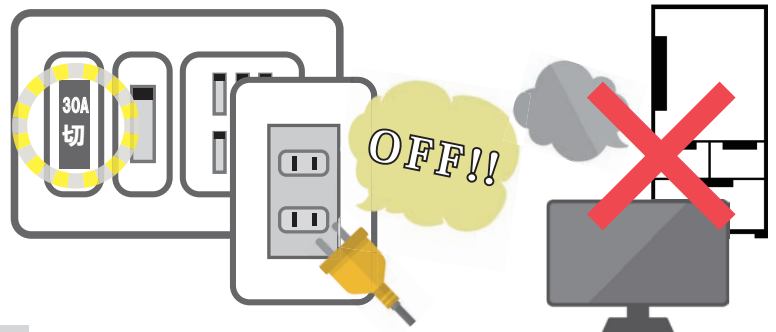
屋外で人と2m以上（十分な距離）離れている時は、マスクを外すなどの対策をとりましょう。



風水害で起こる「通電火災」

これから台風シーズンを迎え、大雨や暴風、突風による被害だけでなく、火災による被害もあることを知っていますか？台風の影響により停電が発生し、浸水又は雨漏りが起き、電気機器や電気配線等が水に濡れた状態で再通電すると、電気機器や電気配線等から出火する、「通電火災」が発生することがあります。停電が起きた際、次の通電火災を防ぐ対策をとりましょう。

- 1 停電中は電気機器のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- 2 停電中に自宅等を離れる際は、ブレーカーを落としてみましょう。



- 3 再通電時には、漏水等により電気機器が壊れていないか、コードが損傷していないか確認しましょう。
- 4 建物や電気機器に外見上の損傷がなくても、内部の損傷により、火災に至る場合があるため、異常があった場合は、すぐに消防署へ連絡しましょう。

八女消防本部職員募集

「熱い君」我々と八女を守りませんか？

〆切
9/11
まで

ご不明な点は八女消防本部総務課まで
お問合せください。

TEL : 0943 - 24 - 0119

詳細については、八女消防本部公
式ホームページをご覧ください。

八女消防本部



職員採用試験

1. 試験日・場所

令和2年10月18日(日) 八女市立福島中学校

2. 受付期間

令和2年8月24日(月)～2年9月11日(金)まで

3. 受験資格

平成8年4月2日～平成15年4月1日までに生まれた人で、高等学校卒業程度以上の学力を有する人、又、採用後、八女地区消防組合管内及び周辺地域に居住できる人。(なお、周辺地域に居住する場合、距離・通勤時間等による制限あり)

4. 採用予定者人員 : 4名程度